

# 1

## 新しい歌を主に

1.  
新しい歌を主に向かって歌え  
主の誉れを主の宮に満ちさせよ  
すべての王の王主に向かって歌え  
主の御前にひれ伏してほめたたえよ

※ハレルヤ グローリー トゥー ガッド ×2

2.  
新しい歌を主に向かって歌え  
主は我らの賛美を愛される  
造られし者は 主に向かって歌え  
主の御前にひれ伏してほめたたえよ

## 罪咎をゆるされ 新聖歌 266 番

1. 罪、咎を赦され 神の子となりたる  
わがたまの喜び 比べうるものなし

※ 日もすがら証せん よもすがら主をほめん  
「御救いは妙なり 御救いは奇すし」と

2. 主にまたく従い 安き得しわが身に  
あまつやの歌声 響き来る心地す

3. 主のものとせられし わが身こそ幸なれ  
感謝なき日はなく 賛美なき夜はなし

## 救い主イエス

その時 御前に立つ 愛する聖徒と共に  
ありのままのイエスの姿 驚き仰ぎみる

※ 礼拝します 唯一の神、救い主イエス  
あなただけが私の希望、永遠の命

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように  
= 教員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように  
=ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

## 5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

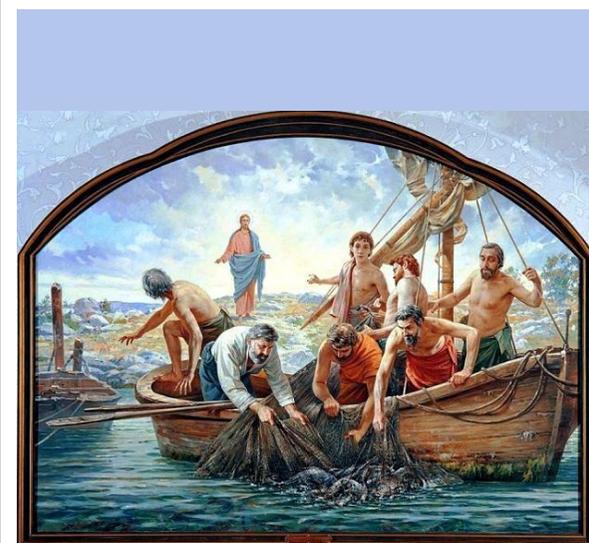
- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

## 信仰宣言

「私の家族は全員救われます」  
「日本にはリバイバルが始まっています」  
「私も用いられます」  
「すべての問題は解決します」  
「することなすこと、みな成功します」  
「私のまわりには奇跡が起こります」  
「すべてのことを感謝します」  
「イエス様と一緒にですから」  
「ハレルヤ主よ感謝します」

## 瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



This is now the third time that Jesus  
shewed himself to his disciples,  
after that he was risen from the dead.

John 21:14 (KJV)

イエスが死人の中からよみがえったのち、  
弟子たちにあらわれたのは、これで既に  
三度目である。ヨハネによる福音書21章14節

## 祈りの小径(こみち)

Number: 155 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの  
街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にあ  
る「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字  
の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2

### 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書5章1～11節

1 さて、群衆が神の言を聞こうとして押し寄せてきたとき、イエスはゲネサレ湖畔に立っておられたが、2 そこに二艘の小舟が寄せてあるのをごらんになった。漁師たちは、舟からおりて網を洗っていた。3 その一艘はシモンの舟であったが、イエスはそれに乗り込み、シモンに頼んで岸から少しこぎ出させ、そしてすわって、舟の中から群衆にお教えになった。4 話がすむと、シモンに「沖へこぎ出し、網をおろして漁をしてみなさい」と言われた。5 シモンは答えて言った、「先生、わたしたちは夜通し働きましたが、何も取れませんでした。しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましよう」。6 そしてそのとおりにしたところ、おびただしい魚の群れがはいって、網が破れそうになった。7 そこで、もう一艘の舟にいた仲間、加勢に来るよう合図をしたので、彼らがきて魚を両方の舟いっぱいに入れた。そのために、舟が沈みそうになった。8 これを見てシモン・ペテロは、イエスのひざもとにひれ伏して言った、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です」。9 彼も一緒にいた者たちもみな、取れた魚がおびただしいのに驚いたからである。10 シモンの仲間であったゼバダイの子ヤコブとヨハネも、同様であった。すると、イエスがシモンに言われた、「恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ」。11 そこで彼らは舟を陸に引き上げ、いっさいを捨ててイエスに従った。

## 3

### 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

ヨハネによる福音書21章4～7節

4 夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。しかし弟子たちはそれがイエスだとは知らなかった。5 イエスは彼らに言われた、「子たちよ、何か食べるものがあるか」。彼らは「ありません」と答えた。

6 すると、イエスは彼らに言われた、「舟の右の方に網をおろして見なさい。そうすれば、何かとれるだろう」。彼らは網をおろすと、魚が多くとれたので、それを引き上げることができなかった。

7 イエスの愛しておられた弟子が、ペテロに「あれは主だ」と言った。シモン・ペテロは主であると聞いて、裸になっていたため、上着をまといて海にとびこんだ。

## 4

### みことばの解説

たとい自分で自分を「あきらめても」、イエス様はあなたを「あきらめません」。Jesus does not give up on you これが、4/23(日)の礼拝メッセージでした。夜明けの岸辺に立たれたキリストは、どのようにペテロを立ち直らせたのでしょうか。

ここでイエス様はペテロ専用と思えるほどの演出をなさいます。なんとと言っても、ヨハネ21章の漁の場面(21の6)は、ルカ5章を回想させます。そうです、ペテロの舟にイエス様がお乗りになって「大漁の奇蹟」が起きたあの日のことです。それは彼の人生にとってとても意義深い日でした。

その後、弟子たちが岸辺に上がられると「焚火」が用意してありました。それは、あの十字架前夜、裁判にかけられる大祭司の中庭を思い出させます。三度も「知らない」と誓ったペテロにされる、イエス様の三つの質問は、私たちがどのように自分の過去を立ち向かうかを教えてくれるでしょう(その内容は5/7(日)にて)。

ルカ福音書5章におけるペテロの人生の霊的分岐(ターニングポイント)は以下のように起こりました。

(1) 沖へ漕ぎ出し、網をおろして漁をしてみなさい。

(4節)

↓  
浅瀬に留まるのではなく、リスクを伴う「沖」「深み」に漕ぎ出すことは神様に信頼する訓練です。

(2) 夜通し働きましたが何もとれませんでした。

しかし、お言葉ですから網をおろして... (5節)

↓  
自分の考えを置き、御言葉に従うことで、神様のご計画の「真ん中」を生きることができる(箴言19の21)

(3) イエスのひざもとにひれ伏して...(8節)

↓  
自らの愚かさ・罪を知りつつも主を礼拝する心を持つ

(4) いっさいを捨ててイエスに従った(11節)